



TITLE:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 109

AUTHOR(S):

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 109. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1961, 109: 47-52

ISSUE DATE:

1961-10-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186936>

RIGHT:

京都大学瀬戸臨海実験所振興會

水族館月報

No. 109

1961. 9月(10月10日)

録 事

9月4日 常任委員は青藤省三商店森裕氏と現地で話合いの結果貯水槽よりの配管は4吋ビニール管2本とするよう決定し追加予算で支拂の予定。

9月14日 青藤省三商店常務取締役石田進一氏、全店技術部知見晴夫氏並びに江戸島水族館広崎芳次氏来館、新水槽室を視察し常任委員とエアリフト装置等について意見交換を行なう。

9月16日 第二室戸台風は正午頃紀伊水道を通過した。烈しい風と高潮時と重った高波により白浜町の海岸通りは甚大な被害を受けた。当館の被害は比較的軽かった方で、その損害は本館の隠板瓦破損270枚、ガラス破損28枚、樋破損13間、電線支柱折損。また海岸便所は半壊に近い被害を受けた。水族館への歩道の海岸側の柱本はほとんど倒されてしまい歩道両側及び構内の防風林は相当太い枝まで折れたのがあり、根元近くから倒れたものも数本あった。歩道は土砂と流木のため通行不能となった。

歩道南側の芝田与七氏の住宅は打寄せた波のため全壊し、またこの台風のため時岡委員官舎、峯尾委員並びに実験所職員浦、た海両氏の住宅は相当ひどい被害を受けた。

水族館の内部施設については幸い大した被害はなかった。そして16日より21日までの停電の間は、自家発電による揚水によって、飼育魚族を無事管理することができた。

9月19日 16日以後臨時休館していたが、本日より構内倒木などの台風あとと整理をつづけながら、観光客を入館させることにした。

9月23日 山本和夫教授来館。新築工事事務打合わせを行なう。

9月26日 6月24日の紀南地方をおそった集中豪雨による富田川増水と国鉄の災害のため新館南館は当初の予定より一カ月延期して11月15日となっていたところ、今回の台風被害のため更に若干おくれるとの話が大林組よりあり、その後交渉をすすめた結果、12月1日開館をめざして11月中頃までに新館を完成するとの了解に達した。

水族館新築工事進捗状況

工事の区分	9月30日現在完工率	残工事の工程と完成予定
1 防水工事	90%	10.20
2 木工工事	80%	10.15
3 建具工事	70%	10.23
4 石タイル工事	50%	10.23
5 カラス工事	0	10.13～10.18
6 水槽岩組	90%	10.25
7 左官工事	70%	11. 5
8 塗装工事	0	11. 1～11.15
9 床仕上げ	0	11.13～11.15
10 電気工事	80%	11.15
11 足場解体	0	10.31～11. 2
12 排水工事	80%	11.15
13 跡地付け	30%	11.15
14 エアリフトの完成のみは11月末の予定		

業 務 概 況

◎ 9月の入場者数

区 分	大 人		小 人		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
水族館発売	4126	62180	167	5960	4293	68140
団体	12225	115938	—	—	12225	115938
交通公社発売	3451	37963	—	—	3451	37963
明光バス発売	7912	131521	107	6661	8019	138182
合 計	27714	347602	274	12621	27988	360223
無 料	施設従業員他				230	1414

団 体 : 一般 135組, 学生 4組 合計 139組

◎ 9月の事業収入 (今年度累計)

観光券売上金	931,145	7,035,501
窓口売上	286,215	3,195,544
交通公社クーポン	58,600	656,887
明光バス観光券	586,330	3,183,070
※		
予金・積立金利子	36,884	899,107
手数料	53,303	367,083
絵はがき拂下	16,150	271,870
パンフレット拂下	240	13,140
南極生物報告拂下	3,000	3,826
魚 類 拂 下	0	0
雑 収 入	385	17,915
諸施設改善積立金より繰入	12,470	15,572,648
合 計	1,053,577	24,181,090

※ 明光バス観光券未収分 大人券 11467枚
小人券 4417枚

◎ 9月の支出

水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人件費	152,537	996,961	
会議費	5,769	97,815	
備品費	—	72,900	
消耗費	32,910	428,459	
事業費	65,304	364,042	
維持費	10,240	49,715	
其他諸経費	88,073	591,788	台風災害見舞金他
積立金	107,487	1,349,458	
合 計	462,320	3,951,138	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	—	4,530	
奨 学 金	—	60,000	
備 品 費	—	34,294	
消 耗 費	—	—	
刊 行 費	487,750	590,590	Publ. vol. 9, no. 1 他
役 務 費	—	18,520	
合 計	487,750	707,934	

伝物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	27,300	199,115	
備 品 費	—	1,000	
消 耗 費	—	3,000	
役 務 費	—	—	
合 計	27,300	203,115	

臨時費

掲 要	金 額	累 計
水族館増築費	—	15,500,000
増築諸雑費	12,470	72,648
合 計	12,470	15,572,648

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	462,320	3,951,138
実験所経費	487,750	707,934
伝物館経費	27,300	203,115
臨時費	12,470	15,572,648
合 計	989,840	20,434,835

◎ 9月末現在高

前月よりの繰越	3,682,518
今月の収入合計	1,053,577
今月の支出合計	989,840
現 在 高	3,746,255

◎ 前年度との比較

	1960	1961	増 減
入 場 者 数	39,437	27,988	- 11,449

水族館記事

- ◎ スギが13日入槽, また餌についていないが元気である。
 ◎ ハナミノカサゴが29日入槽。
 ◎ 9月30日現在, 観覧水槽に收容飼育中の動物は総計157種, 1660個体以上で, その内訳は下記の通り。

ヒドロ虫類	1種,	カフトカニ類	1種,	ウミシタ類	2種,
ウミトサカ類	2種,	フジツボカメノテ類	2種,	ヒトデ類	5種,
ヤギ類	4種,	エビ類	6種,	ウニ類	8種,
ウミエラ類	1種,	ヤドカリ類	4種,	ナマコ類	5種,
イソギンチャク類	7種,	カニ類	4種,	ホヤ類	1種,
イシサンゴ類	11種,	ヒザラカイ類	2種,	硬骨魚類	65種,
ツノサンゴ類	1種,	二枚貝類	6種,	カメ類	3種,
ハナギンチャク類	1種,	巻貝類	12種,		
多毛類	2種,	イカ類	1種,		

資料

- ◎ 9月の気象 (9時観測)
 南水槽室 (水温・比重はN0.25水槽)

	上旬	中旬	下旬
晴天日数 20	8	6	6
室温(°C)	$\frac{27.1 \sim 29.0}{28.0}$	$\frac{22.2 \sim 28.9}{26.2}$	$\frac{24.8 \sim 27.0}{25.6}$
水温(°C)	$\frac{28.78 \sim 28.51}{28.05}$	$\frac{25.24 \sim 28.06}{26.93}$	$\frac{24.22 \sim 26.86}{25.66}$
比重(0.15)	$\frac{24.13 \sim 24.96}{24.68}$	$\frac{22.77 \sim 24.96}{23.89}$	$\frac{23.49 \sim 24.54}{24.08}$

取入口

水温(°C)	$\frac{28.14 \sim 29.39}{28.76}$	$\frac{24.56 \sim 28.80}{27.13}$	$\frac{25.31 \sim 27.74}{26.35}$
比重(0.15)	$\frac{24.29 \sim 25.15}{24.83}$	$\frac{24.69 \sim 25.01}{24.85}$	$\frac{23.45 \sim 24.54}{24.15}$

来 訪 録

9月28日 明石水族館々長小林弘尚氏視察のため来館。

昭和36年10月10日 (NO.109)

編集兼
発行者

山 路 勇

発行所

瀬戸内海実業所振興会
和可山祭 白浜町
瀬戸内海実業所内
(Tel.白浜温泉515)